

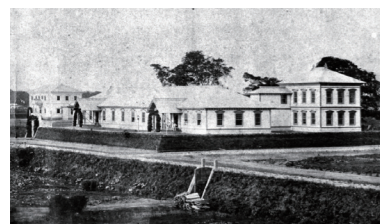
知と創造の歴史を積み重ねた北海道大学の歩み 創基150年に向けてさらなる発展を

北海道大学は、1876年に札幌農学校として開校し、以後、東北帝国大学農科大学、北海道帝国大学を経て1947年から北海道大学となり、現在に至っています。ウィリアム・S・クラーク博士の意思を受け継ぐフロンティア精神のもと、日本の基幹大学として世界をリードし、新たな時代を開拓し続けています。

1876

札幌農学校として開校

マサチューセッツ農科大学長ウィリアム・S・クラークが札幌農学校初代教頭として着任。1876年8月14日、札幌農学校開校式挙行(本学開学記念日)。



開校当日の札幌農学校

1907

東北帝国大学農科大学に

東北帝国大学が設置され、札幌農学校が東北帝国大学農科大学に。1909年、練習船おしよ丸(現・おしよ丸V世)新設。

1918

北海道帝国大学に

北海道帝国大学が設置され、東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学に。翌年、農科大学を改称して農学部を設置。以後、医学部、工学部、理学部、法文学部(現・文学部、法学部、経済学部)を順次設置。



1930年、4つ目の学部として理学部を設置。現在は総合博物館

1947

北海道大学に

北海道帝国大学が北海道大学に。1949年には国立学校設置法が公布・施行され、新制の北海道大学(法文、教育、理、医、工、農、水産の各学部)設置。

1953

新制大学院設置

文、教育、法、経済、理、工、農、獣医、水産の各研究科を設置。

1955

大学院に医学研究科設置

1967

1952年に獣医学部、1965年に薬学部、1967年に歯学部を設置し、12学部。

2004

国立大学法人北海道大学に

2021

創基145年

2026

創基150年

● 北大の変遷

明治

大正

昭和

平成

令和

● 施設や研究所・出来事

1936

中谷宇吉郎博士が世界で初めて人工雪結晶を製作

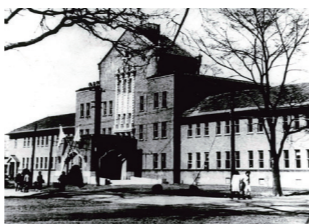


二重ガラス管人工雪製作装置。総合博物館に他の資料とともに展示されている

1941

低温科学研究所設置

寒冷圏および低温条件下における科学現象の基礎と応用に関する研究を行うことを目的に設置。



設立当時の低温科学研究所

1943

触媒研究所設置

世界で初めて「触媒」の名を冠した研究所として1943年に誕生。1989年に触媒化学研究センターに改組。2010年に文部科学省から共同利用共同研究拠点として認定を受け、国内の触媒研究に従事する研究者の利用に供すべく拠点活動を行う。2015年に触媒科学研究所として改組。

1978

スラブ研究センター設置

ロシア(ソ連)をはじめとするスラブ地域との関係が深かった北海道の地に、日本のスラブ研究の拠点として誕生。2014年にスラブ・ユーラシア研究センターに改称。

2003

北海道大学病院設置

医学部附属病院と歯学部附属病院を統合し、地域や社会からの高度な要請に対応できる医療の提供と人材育成を推進。



北海道大学病院

2018



化学反応創成研究拠点(ICReDD)設置

文部科学省の事業である世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択され設置。

2010

鈴木章ユニバーシティプロフェッサー・名誉教授ノーベル化学賞受賞

鈴木・宮浦カップリング合成法の開発によりノーベル化学賞を受賞。医薬品・液晶・有機ELなどの開発、量産化に大きく貢献。



2007

アイヌ・先住民研究センター設置

国内唯一の先住民研究の専門研究機関として、アイヌ民族をはじめ先住民と協同し、先端的・実践的な教育研究を推進するセンター。



センター開設記念式で実施したカムイノミ(神への祈り)

2005

人獣共通感染症リサーチセンター設置

2021年に人獣共通感染症国際共同研究所に改組。新型コロナウイルス感染症の国際的な研究拠点としても活動。

本学の歩み・沿革については、以下の本学ウェブサイトにて公開しています。

📄 https://www.hokudai.ac.jp/introduction/pdf/20210802_gaiyou.pdf#page=4

